国民奴隷化計画！？という声も・・・

ホワイトカラー・エグゼンプション（white collar exemption）は、いわゆるホワイトカラー労働者に対する労働時間規制を適用免除（exempt）する制度のことです。

「ホワイトカラー」は、その働き方に裁量性が高く、労働時間の長さや成果が必ずしも比例しない部分があるとされており、このため、労働時間に対して賃金を支払うのではなく、成果に対して賃金を支払う仕組みが必要、というのが提案の要旨となっています。適用除外は一定以上の年収などを条件に「1日8時間、週40時間」の労働時間規制を撤廃し、自らの裁量で労働時間を決めるようになります。その為、従来支払われていた残業代が一切支払われなくなります。

対象とされているのは年収400万円以上の労働者で、全労連系の「労働運動総合研究所」によると、全労働者が失う残業代が年間総額11兆6,000億円、1人当たり114万円に上るとの試算を発表しています。

厚生労働省は来年の通常国会での法案提出を目指していますが、労働総研は「巨額の賃金横取りである上、過労死を急増させる」として導入に反対しています。

ホワイトカラー・エグゼンプションの適用対象者

- ・現行の専門業務型裁量労働制の対象業務従事者（賃金要件を問わない）。
- ・法令で定めた業務の従事者で、月給制か年俸制、年収が400万円か全労働者の平均給与所得以上の者。
- ・労使委員会の決議により定めた業務で、月給制か年俸制、**年収が400万円か全労働者の平均給与所得以上の者。**
- ・労使協定により定めた業務の従事者で、月給制か年俸制、年収が700万円か全労働者の給与所得上位20%以上の者

参考：北海道新聞 <http://www.hokkaido-np.co.jp/>
ウィキペディア <http://ja.wikipedia.org/wiki/>